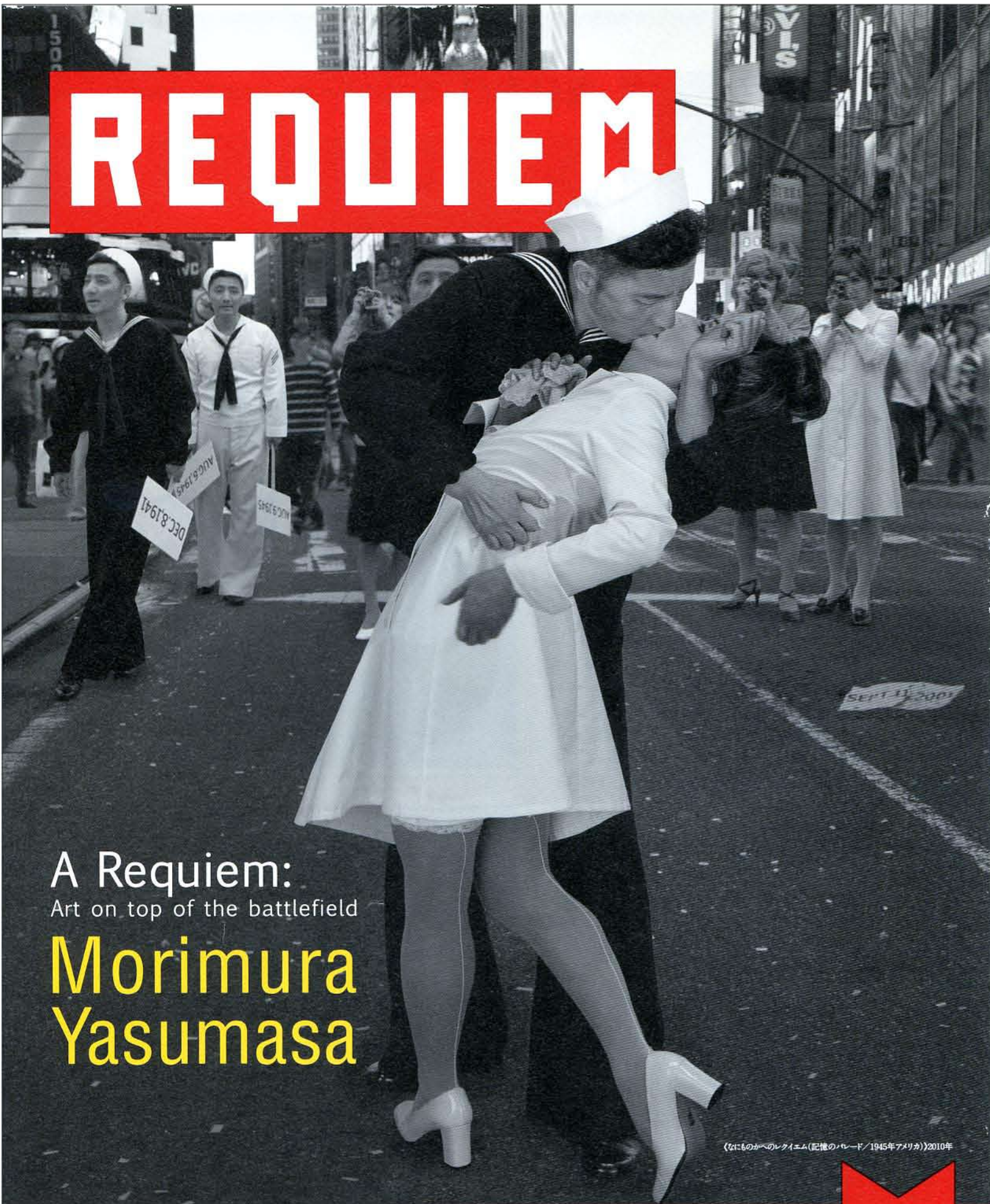


REQUIEM



《なにものかへのレクイエム(記憶のパレード/1945年アメリカ)》2010年

A Requiem:
Art on top of the battlefield
**Morimura
Yasumasa**

森村泰昌・なにものかへのレクイエム—戦場の頂上の芸術
2010年3.11[木]—5.9[日] 東京都写真美術館 2階展示室
3階展示室

観覧料:一般¥1,000(800)、学生¥800(640)、中学生・65歳以上¥600(480)
*1は20名以上の団体および東京都写真美術館の会員
*小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 *第3水曜日は65歳以上無料
開館時間:10:00—18:00(木・金は20:00まで)入館は閉館の30分前まで
休館日:毎週月曜日(ただし月曜日が祝日または振替休日の場合は翌日4/29—5/9のGW期間は無休)

主催:財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京都新聞協賛:株式会社資生堂、富士フイルム株式会社、株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン、凸版印刷株式会社
協力:NECディスプレイソリューションズ株式会社、写真弘社、Shugo Arts、財団法人草月会、株式会社キタ科学研究所

2010
THU MARCH 11
SUN MAY 9

森村泰昌・なにものかへのレクイエム—戦場の頂上の芸術



《なにものかへのレクイエム(MISHIMA 1970.11.25-2006.4.6)》2006年



映像作品《海の幸・戦場の頂上の旗》2010年より

80年代から一貫して名画の登場人物や映画女優などに自らが扮するセルフポートレート写真を手がけてきた美術家・森村泰昌。本展では、「20世紀の男たち」をテーマとする新作シリーズ《なにものかへのレクイエム》を完全版でご紹介します。

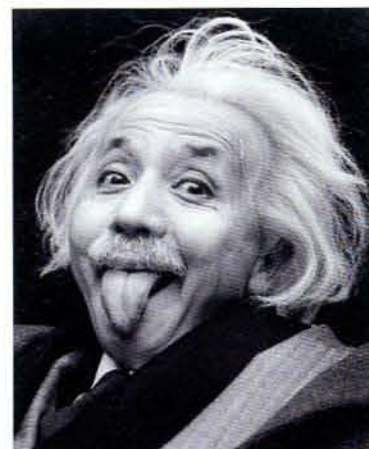
20世紀は男たちが建設し、戦い、破壊してきた歴史であるにもかかわらず、21世紀の現代では急速に「男性的なるもの」の価値が忘れ去られようとしています。森村は06年にシリーズ第一章「烈火の季節」、07年に第二章「荒ぶる神々の黄昏」を発表し、20世紀の報道写真に写し出された時代を象徴する事件や、レーニン、独裁者、ゲバラ、毛沢東、三島由紀夫といった歴史上の偉人・英雄たちを、セルフポートレートの手法によって現代に蘇らせてきました。本展ではこれらの作品に加えて第三章、第四章を最新作として初公開します。第三章「創造の劇場」は、ピカソ、デュシャン、ダリ、クライン、ウォーホルなど20世紀の男性芸術家たち10人に扮する森村泰昌の挑戦。革新的な美を切り開いた先駆者たちとの対話を通して、彼らの人間性とその創造の魅力が新たな視点から捉え直されます。

第四章「1945・戦場の頂上の旗」において、森村の20世紀探求は、歴史の重要な分岐点1945年の有名な報道写真に着想を求めます。昭和天皇・マッカーサー会見、タイムズスクエアの終戦記念パレード、硫黄島の星条旗といった歴史の記憶をめぐり、ひとりの芸術家の感性と想像力は、戦いの時代の頂点へ。「あなたなら、どんな形の、どんな色の、どんな模様の旗を掲げますか?」森村の問いかけは、見る者の未来へと投げかけられます。

鎮魂歌(レクイエム)。それは過ぎ去った男たちとその時代、思想への敬意をこめて、失われていく記憶を21世紀に伝えようとする行為なのです。本展は東京都写真美術館2フロアにわたって、新作を含む約40点の写真作品・映像作品によって構成されます。歴史の記憶に挑む森村泰昌の新たなセルフポートレート表現をどうぞお楽しみください。



《なにものかへのレクイエム(OSWALD 1963.11.24-2006.4.1)》2006年



《なにものかへのレクイエム(山の夢・アルベルト2)》2007年



《なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / パブロピカソ)》2010年



《なにものかへのレクイエム(創造の劇場 / イザクライン)》2010年

■関連イベント

□対談 平野啓一郎(小説家)×森村泰昌
日時:2010年3月28日[日]18:00—20:00
会場:東京都写真美術館1階ホール
定員:200名
当日10時より1階受付にて本展チケット半券をお持ちの方に整理券を配布します(番号順入場、自由席)
関連イベントの詳細については東京都写真美術館のホームページでご確認ください。

□フロアレクチャー

会期中の第2、第4金曜日午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。観覧チケットの半券(当日有効)をお持ちの上、2階展示室にお集まりください。

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内 <http://www.syabi.com>
〒153-0062東京都目黒区三田1-13-3 tel:03-3280-0099(代表)
JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分、東京メトロ恵比寿駅より徒歩10分
当館には専用駐車場はございません。お車でのご来場は近隣の有料駐車場をご利用ください。

